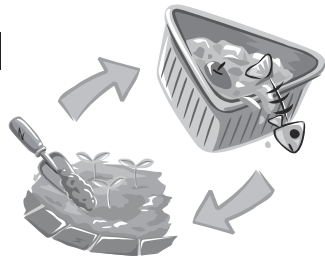


購入前に申請
が必要です！

家庭用生ごみ処理機の購入費を補助

家庭からエコを始めよう

家庭から出る生ごみの減量化・再資源化を進めるため、市では、機械式生ごみ処理機や生ごみ堆肥化容器を購入する人に補助金を交付しています。



- 対象者／住民登録がある市民
(過去に同じ機器の購入費補助を受けたことのある人は対象外)
- ☎ 市役所廃棄物対策課 (葦山管理棟)
☎ 055-949-6805

- 対象機器／『機械式生ごみ処理機』または『生ごみ堆肥化容器』(※EMぼかし用密閉容器は対象外)
- 補助額／購入額の2分の1を補助。ただし、機械式生ごみ処理機は30,000円、生ごみ堆肥化容器は3,000円が限度額(100円未満切捨て)



資源ごみ回収事業報奨金のお知らせ

資源ごみ回収の団体登録申請を

資源ごみの再生利用の促進と循環型社会の意識を高めるため、市では、資源ごみを回収する団体に『資源ごみ回収事業報奨金』を交付しています。

- ☎ 市役所廃棄物対策課 (葦山管理棟)
☎ 055-949-6805

- 対象／市内に活動の拠点をもち、地域社会に貢献できる性格の団体で、回収を自ら継続して実施できる団体。(資源ごみの回収や処分を業とする団体は対象外)
- 報奨金／資源ごみ1kg当たり6円(報奨金の10円未満の端数は切り捨て)
※資源ごみとは、新聞や雑誌、古着、空きビン、空きカンなど、資源として再生利用できるもの
- 登録申請期間／4月1日(金)～25日(月)

図書館だより

今月のおすすめ ～ともだちっていいな～

新学期、どんな友だちができるかな？
出会い、別れ、けんか、友情…。
きっと大人もじんわりする絵本です。



『せいちゃん』
松成真理子(作・絵)／ひさかたチャイルド

おとなりのせいちゃんとぼくは、毎日一緒だった。せいちゃん引っ越しの日、ぼくはせいちゃんにもらった自転車でトラックをおいかけた…。【葦山】



『ココさんのともだち』
片山健(作・絵)／福音館書店
保育園で一人ぼっちのコッコさん。なかなかみんなと遊べません。ある日、やっぱり一人ぼっちのアミちゃんと手をつなぐと、だんだんうれしくなっていく…。【全館】

■長岡図書館は3月31日をもって休止となりました

長岡図書館の資料は現在、中央・葦山図書館へ移管・整理中です。検索して所蔵場所が“長岡”となっている本も、予約すればご利用いただけます。また、長岡図書館の返却ポストは当分の間ご利用いただけます。



図書館カレンダー
モバイル版QRコード



- 『けんかのきもち』『ぜっこう』柴田愛子(文)伊藤秀男(絵)／ポプラ社【全館】
- 『きみななかだいきらいさい』ジャニス・メイ・ユードリー(文)／富山房【全館】
- 『あのときすきになったよ』薫くみこ(作)飯野和好(絵)／教育画劇【全館】
- 『なかよし』『けんか』シャーロット・ゾロトウ(文)／童話屋【全館】
- 『ともだち』谷川俊太郎(文)和田誠(絵)／玉川大学出版部【中央】
- 『ともだちやもんな、ぼくら』くすのきしげのり(作)／えほんの杜【中央】

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/> ☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

4月の休館日	中央図書館 4日(月)、11日(月)、18日(月)、22日(金)、25日(月)、29日(金・祝)	葦山図書館 6日(水)、13日(水)、20日(水)、22日(金)、27日(水)、29日(金・祝)	長岡図書館 3月31日をもって休止となりました。
--------	--	--	--------------------------

文化財通信

その130

葦山郷土史料館 前期企画展開催中

- ☎ 市役所文化財課
☎ 055-948-1428



発掘調査の様子

本企画展では、そのような発掘の技術や知識、調査に関わるさまざまな仕事を、市内で発見さ

「埋蔵文化財」といいます。「埋蔵文化財」を地下から取り出すのが「発掘調査」です。長い年月、地中で守られて眠っていた文化財を発掘するためには、綿密な計画、考古学の知識や技術力が欠かせません。また、地中から見つかった文化財は、たいへん脆くなっていたり、掘り出したときの環境に影響を受け劣化してしまったりするものも多いため、遺構や遺物の取り扱いも技術と専門的な知識が必要となります。

葦山郷土史料館では、平成28年度前期企画展「はつくつ 伊豆の国」展を開催中(9月4日まで)です。本企画展は発掘調査をテーマとしており、小・中学生や初心者にも考古学のおもしろさを知っていただく機会になると思います。



発掘した遺物を実測

「整理員」が協力・分担して発掘調査を進めます。遺構や遺物を掘り出し、復元し、計測し、保存処理を施してはじめて史料館の展示室に埋蔵文化財が展示できます。展示に活用されるだけでなく、市内から出土したさまざまな時代の多様な遺跡は、地域づくりに生かすために活用されたり、発掘されたそのままの状態でも保存されたりします。もちろん、発掘調査後、残念ながら土木工事のため消滅してしまう遺跡も多くあります。

れた埋蔵文化財とともに、紹介していきます。発掘調査の全体を監督する「調査員」のもと「作業員」「補助員」

日頃なかなか触れることのない考古学への入口として、お気軽に足をお運びください。また、本企画展開催中(6月19日、7月17日、8月7日、21日、いずれも日曜日)には、関連イベントとして、小学校高学年生向けに「勾玉づくり・火起こし体験教室」を開催します。ぜひご参加ください。

☎ 葦山郷土史料館(水曜休館) 055(949)4127
※ 教室への参加は予約が必要です。